



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東京會館
コード番号 9701 URL <http://www.kaikan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 幸弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 鈴木 輝伯

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3215-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,324	6.0	△363	—	△346	—	△698	—
24年3月期第3四半期	6,909	△6.6	△147	—	△113	—	△343	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△20.90	—
24年3月期第3四半期	△10.29	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,030	—	6,792	—	—	56.5
24年3月期	12,450	—	7,530	—	—	60.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 6,792百万円 24年3月期 7,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	2.50	2.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	—	70	—	△470	—	△14.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	34,639,434 株	24年3月期	34,639,434 株
25年3月期3Q	1,204,912 株	24年3月期	1,200,665 株
25年3月期3Q	33,437,095 株	24年3月期3Q	33,440,725 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により企業の設備投資や消費動向に復調の兆しがみえはじめたものの、欧州の債務問題や中国をはじめとする新興国の成長鈍化、長期化する円高・デフレなど依然として厳しい状況で推移いたしました。

宴会場、結婚式場、レストランの業界におきましては、当社本館の近隣地域における新規進出や既存施設の改装など競争環境は激しさを増しております。

このような経営環境のもと当社は、昨年の東日本大震災の影響による売上げの落ち込みを回復すべく積極的な営業活動を展開いたしました。特に、創業 90 周年という節目の年を迎え、各種記念イベントや多彩な記念メニューの提供、新商品の企画販売などに取り組んでまいりました。

宴会部門のうち一般宴会につきましては、新規顧客の開拓やスポット宴会の獲得に注力するとともに、創業 90 周年に因んだ各種記念イベントを開催し集客と売上の向上に努めました。一方、婚礼については、ブライダルフェアを頻繁に開催するなど宣伝活動の充実を図るとともに、夜の披露宴を積極的に販売し、婚礼組数の確保に積極的に取り組みました。

食堂部門につきましては、各営業所の特色を活かした営業活動を推し進め、創業 90 周年記念メニューの提供や多彩なフェアを企画販売するなど積極的な営業活動を展開いたしました。また、あらたに日本橋三越本店特別食堂の運営を受託し、東京會館がこれまで培ってきたノウハウ・技術を活かしてホスピタリティあふれる店舗をスタートいたしました。

その結果、売上高は 7,324 百万円(前年同四半期比 6.0%増)となり、経費面におきましては、業務全般の一層の効率化を推し進め、諸経費の削減を図ってまいりました。しかしながら退職給付費用の大幅な増加などにより、営業損失は 363 百万円、経常損失は 346 百万円となりました。また、東京會館ビルの建替事業資金に充当するための本館建物の譲渡に係る損失を計上したことなどがあり、四半期純損失は 698 百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間の総資産は、前事業年度末比 420 百万円(3.4%)減少して、12,030 百万円となりました。

流動資産は同 2,200 百万円(99.6%)増加の 4,409 百万円、固定資産は同 2,621 百万円(25.6%)減少の 7,620 百万円となりました。流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が 1,323 百万円、有価証券が 605 百万円、繰延税金資産が 104 百万円増加したこととあります。固定資産のうち有形固定資産は、3,336 百万円減少の 3,966 百万円となり、その主な要因は、本館の建物他の売却、減価償却実施額で減少したことによりです。投資その他の資産は、715 百万円増加の 3,650 百万円となり、その主な要因は、投資有価証券が 255 百万円、繰延税金資産が 322 百万円増加したこととあります。

負債合計は、前事業年度末比 317 百万円(6.4%)増加して 5,237 百万円となりました。

流動負債は同 250 百万円(15.8%)増加の 1,836 百万円、固定負債は同 66 百万円(2.0%)増加の 3,401 百万円となりました。流動負債増加の主な要因は、未払金が 124 百万円、「その他」に計上している未払消費税等が 106 百万円それぞれ増加したことと、賞与引当金が 46 百万円減少したこととあります。

純資産合計は、前事業年度末比 737 百万円(9.8%)減少して 6,792 百万円となりました。その要因は、四半期純損失を計上し、配当の支払いを行ったこととあります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、平成 24 年 11 月 15 日に発表いたしました業績予想に変更はございません。今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には適切に開示いたします。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,195,563	2,518,572
売掛金	628,692	780,639
有価証券	-	605,265
商品及び製品	72,064	48,154
仕掛品	5,693	7,846
原材料及び貯蔵品	86,972	98,333
繰延税金資産	131,185	235,657
その他	91,020	117,469
貸倒引当金	2,074	2,099
流動資産合計	2,209,116	4,409,839
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,762,826	429,086
機械装置及び運搬具（純額）	133,056	153,269
工具、器具及び備品（純額）	382,499	396,903
土地	3,024,799	2,973,706
建設仮勘定	-	13,900
有形固定資産合計	7,303,181	3,966,865
無形固定資産		
電話加入権	3,068	3,009
無形固定資産合計	3,068	3,009
投資その他の資産		
投資有価証券	886,119	1,141,940
繰延税金資産	1,118,682	1,441,383
その他	930,522	1,067,151
投資その他の資産合計	2,935,324	3,650,475
固定資産合計	10,241,574	7,620,350
資産合計	12,450,690	12,030,190

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	225,973	307,431
短期借入金	380,000	380,000
未払金	422,196	546,354
未払法人税等	29,754	13,939
賞与引当金	100,560	53,990
その他	427,255	534,365
流動負債合計	1,585,739	1,836,081
固定負債		
退職給付引当金	2,785,307	2,844,613
資産除去債務	78,405	78,794
その他	471,050	478,050
固定負債合計	3,334,763	3,401,458
負債合計	4,920,502	5,237,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,700,011	3,700,011
資本剰余金	3,654,271	3,654,271
利益剰余金	534,558	248,032
自己株式	431,507	432,793
株主資本合計	7,457,334	6,673,457
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	72,854	119,193
評価・換算差額等合計	72,854	119,193
純資産合計	7,530,188	6,792,651
負債純資産合計	12,450,690	12,030,190

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	6,909,422	7,324,148
売上原価	6,391,834	6,987,840
売上総利益	517,588	336,307
販売費及び一般管理費	664,589	700,056
営業損失()	147,000	363,748
営業外収益		
受取利息	721	825
受取配当金	16,544	16,300
その他	22,430	8,001
営業外収益合計	39,696	25,126
営業外費用		
支払利息	4,295	4,292
コミットメントフィー	2,062	2,062
ゴルフ会員権退会損	-	1,000
その他	215	250
営業外費用合計	6,574	7,605
経常損失()	113,878	346,227
特別利益		
固定資産売却益	-	19,032
貸倒引当金戻入額	24,000	-
特別利益合計	24,000	19,032
特別損失		
固定資産売却損	-	786,662
固定資産除却損	4,052	1,243
固定資産処分損	3,200	3,631
災害による損失	8,184	-
投資有価証券評価損	173,220	-
抱合せ株式消滅差損	33,618	-
特別損失合計	222,276	791,537
税引前四半期純損失()	312,154	1,118,732
法人税、住民税及び事業税	8,311	9,020
法人税等調整額	23,510	428,758
法人税等合計	31,821	419,737
四半期純損失()	343,976	698,994

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第 3 四半期累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 12 月 31 日)
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 3 四半期累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 12 月 31 日)
該当事項はありません。